

早稲田大学 商学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	2011年以降の記号問題36・記述問題13・論述問題1というパターンは今年も踏襲された。変化はなかった。論述問題の字数100字も同じ。難易度は全体としては昨年と同等。論述のテーマは2012年まで米国現代史が続き、13年「N I E S」、14年「E C S C」、15年「米国近代史」、16年「米中国交正常化」、17年「1970年代の世界的経済危機」、18年「1990年代以降のインドの政治・経済情勢」、19年「プラザ合意」、2020「2015年以降に英で起きた EU との関係」で今年は「米南部における共和党支持者の拡大と公民権運動」。記憶による知識の多寡ではなく、社会の変化の潮流をとらえ、または推測する力を問う問題だった。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代ローマの金貨	<p>昨年に続き大問 I は古代ローマ。問 A. 正解は 2「リウィウス」。著作は『ローマ建国以来の歴史』でアウグストゥスの厚遇を受けたことで知られる。アウグストゥスと近い人物としてはヴェルギリウスの頻出。1「タキトゥス」の『年代記』はアウグストゥスからネロまでを記している。3「ポリビオス」はカルタゴの滅亡(前146)を実見した人物。問 B. 正解は 3「ハドリアヌス」。「ハドリアヌスの長城」は図説類では定番。問 C. 正解は 1「ルーマニア」。ドナウ川以北はローマにとって勢力伸張が困難なエリア。トラヤヌス帝がローマの版図を最大にしたとは、具体的にはダキアの獲得のこと。教科書の地図にもしっかり示されている。ドナウ川対岸はトラキアで現在のブルガリアにあたることも重要。問 D. 正解は 2「アントニヌス」。カラカラ帝は俗称で本名はアントニヌスだった。問 E. 正解は 2「エデッサ」、問 F. 正解は「ウァレリアヌス」。対するササン朝の王はシャープール 1 世。語群の選択肢は極端にマイナーな人物なので自信をもって一本釣りする。問 G. 正解は 4。ホスロー 2 世(位590～628)は難しい。エジプトを征服(616)してササン朝の最大版図を形成した。1:アルダシール 1 世が滅ぼしたのは「パルティア」。2:ホスロー 1 世が戦ったのはユスティニアヌス。3 ササン朝がイスラーム軍に敗れたのはニハーヴァンドの戦い(642)で当時のカリフは正統カリフ 2 代のウマル。問 H. 正解は 3。ディオクレティアヌス帝が価格統制を行ったのは事実だが、用語集レベルには登場しないレベル。山川の『詳説世界史研究』には記載があるが、ここまでカバーするのは困難。他の選択肢も難しく消去法も不可能。ここは「勘」に頼らざるを得ない。1「マルス」は戦いの神。ディオクレティアヌスは自身をユピテル神(ギリシアではゼウス)の体現者とした。4:「カピタティオ」は人頭税、「ユガティオ」は地税。この二つを一体化して徴税を強化した。問 I. 正解は 4。選択肢の誤りから消去法で対処可能。1:アウグストゥスが『神の国』を著す契機となったのは西ゴートによるローマ占領(410)。ここから 5 世紀と判断。2:ニケーア公会議で正統とされたのは「アタナシウス派」。3:キリスト教が「唯一の国教」とされたのはテオドシウス帝による異教信仰禁止(392)。</p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
I		問J. 正解は4「ソリドゥス」。問K. 正解は1「ホノリウス」。ホノリウス帝の名は『用語集』の説明文レベル。問L. 正解は1。2「『ローマ法大全』(527～565)→4「聖像禁止令」(726)→1「第1次ブルガリア帝国征服」(1018)→3「アレクシオス1世(位1081～1118)」の順。アレクシオス1世(位1081～1118)は現行の『用語集』からは消えている。教皇ウルバヌス2世に十字軍の派遣を要請した人物。ここはプロノイア制から11世紀と判断するが第一次ブルガリア帝国も11世紀なので選別は難しい。	
II	新儒学(朱子学と陽明学)の展開	<p> 昨年の大問II「科挙関係史」と重なるテーマ。問A. 正解は2『四書集注』。『用語集』の説明文レベル。消去法でも対応でき、「四書」から朱熹を連想してもよい。1『日知録』は顧炎武、2『太極図説』は周敦頤、4『資治通鑑』は司馬光の著。問B. 正解は3。1「欧陽脩」が著したのは『新唐書』と『新五代史』。2「宋学の祖」とされる周敦頤は北宋時代、「宋学を大成」した朱熹は南宋時代。4「蘇軾」は政治的には旧法党として知られる。問C. 正解は1。文は均輸法に該当。2:市易法に該当するが、対象は中小商人。3:新法以前の差役法(官が租税徴収や官用品輸送などを事実上強制的に農民に割り当てる制度)にかわって募役法(農民の力役のかわりに免役銭を出させ、それを財源にして失業者を雇用する制度)を導入した。4:文は法に該当。保馬法は首都開封と華北で施行された。問D. 正解は4『春秋』。本来は単純な編年体の史書であった『春秋』を正統論に基づいて再解釈した。問E. 正解は3。元は大都への物資輸送のため新運河の開削のほか山東半島を迂回する航路も開いた。1:郭守敬が仕えたのはフビライ=ハン。2:『西遊記』の完成は明代の16世紀後半。4:コバルト原料はイスラーム世界から中国にもたらされた。問F. 正解は4「浄土宗」。「官民間わず流行」という点が浄土宗の特徴。主として士大夫層に受容されたのは全禅宗。問G. 正解は2「王重陽」。選択肢にマイナーな人物が配置されているが「全真教」というだけで即答可能。問H. 正解は4「世宗」。朝鮮史では「世宗大王」として尊崇された。問I. 正解は2「ポルトガルのマラッカ占領」(1511)、王守仁(陽明)(1472～1528)の活躍期と合致するものを選ぶのは難しい。1「一条鞭法施行」(16世紀中頃)・3「アルタン=ハンの北京包囲(1550)・4「種子島鉄砲伝来」(1543)とみな近い。問J. 正解は1「性即理」。「性即理」を陽明学の祖とされる陸九淵が批判し「心即理」を提唱したことは有名。問K. 正解は3「マテオ=リッチ」。李贄は明代の人。1「アダム=シャル」と4「フェルビースト」は清代。2「アレッサンドロ=ヴァリニャーノ」の活動は日本。問L. 正解2「李時珍」は易しい。 </p>	標準
III	イギリスと革命	<p> 問A. 正解は4「ワット=タイラーの乱」(1381)。1「星室庁裁判所」はテューダー朝初代のヘンリ7世。2「ドゥームズデー=ブック」はノルマン朝初代ウィリアム1世。3「バラ戦争」(1455～85)はランカスター家(朝)(1399～61)時代。問B. 「フィリップ2世」と問C. 「インノケンティウス3世」は易しい。問D. 正解は3。1「シモン=ド=モンフォールの乱」(1265)→2「模範議会」(1295)→3「エドワード3世が仏王位継承権を主張=百年戦争(1339～1453)開始」→4「ヘンリ7世即位=テューダー朝(1485～1603)成立」の順。年代はあいまいでも国王の配列で正答可能。 </p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
III		<p>問E. 正解は4。テューダー朝(1485～1603)が宗教改革の時代だったことを考えれば「エラスムス」と容易に答えられる。問F. 正解は1。2「モア(トマス=モア)」はヘンリ8世の離婚を批判して処刑された。3「統一法」(1599)はエリザベス1世。4「メアリ1世」はプロテスタントを弾圧。問G. 正解は3。『海洋自由論』はグロティウスの著作。ハーヴェーは血液循環論。問H. 正解は4。ジェームズ1世は特権商人に独占権を付与した。この点に関しては山川の『用語集』には記載がなく東京書籍にはある。3「徳川家康に書簡」は日本史でしか取り扱わないレベル。仲介したのはウィリアム=アダムズ(三浦按針)。問I. 正解は1。問J. 正解は3。2「長期議会招集」(1640.11)→4「内戦勃発」(1642)→3「ニューモデル軍結成」(1644)→「第一次英蘭戦争(1652～54)」の順。年代に頼らずとも事態の推移から正答できる。問K. 正解は3。1: トーリ党の支持母体は地主・国教徒。2は事実無根。4: コーヒーハウスは17世紀中ごろから流行した。問L. 正解は3。2「権利の宣言」(1689.2)→1「寛容法」(1689.5)→4「イングランド銀行創設」(1694)→3「スペイン継承戦争」(1701～13)の順。権利の宣言と寛容法は1689年だが、権利の宣言を承認して王位についたのがウィリアム3世とメアリ2世で、そのウィリアム3世が寛容令を出したので前後は区別できる。ただ1番と2番がどちらでも解答には無関係。</p>	
IV	合衆国と奴隷制・人種問題	<p>1. 正解「カルロス1世」。1519年以降は神聖ローマ皇帝カール5世でもあるが、スペイン王としてはカルロス1世でなくてはならない。2. 正解「アシエント」。最近はユトレヒト条約で獲得した奴隷貿易独占権による莫大な富が英産業革命の原資となった点が重要視されている。3. 「ユトレヒト」、4「ヴァージニア」は易しい。5. 正解「フランクリン」。独立宣言の起草者というとトマス=ジェファソンをまず思い当たるはずだがジェファソンはヴァージニアのプランター。6. 正解「カンザス・ネブラスカ法」はとくに問題はない。7. 正解「ホイッグ」。8. 正解「13」。9. 正解「ジム=クロウ」。10. 正解「ブラウン」。受験政治経済では重要事項だが世界史では一部の図説類が紹介しているに過ぎない。選択問題なら消去法という手もありうるかもしれないが記述式なので厳しい。公立学校における人種隔離を定めたカンザスの州法(通称「ジム=クロウ法」)を違憲とした判決(1954)。これに続いて翌1954年にはアラバマ州モンゴメリーでローザ=パークス事件(バスの人種隔離違反で女性が逮捕)、そしてキング牧師に主導されたハス・ボイコット運動と続く。11. 正解「NATO(北大西洋機構)」。1950年に就任という点から49年設立のNATOを連想する。12. 正解「オバマ」は易しい。13. 正解「ブラック・ライヴズ・マター」。「2012年2月には10代のアフリカ系アメリカ人が…」からは難しいが、「2020年には、ミネアポリスにおいて…」で解答可能。ジョージ=フロド氏が白人警官に窒息死させられた事件は2020年を象徴する大事件の一つ(もう一つは新型コロナウイルスの世界的蔓延)だけに、ニュースをしっかりとチェックしているかどうか問われる。小論述はかなりの難問。事態の推移をある程度類推できるかどうかの地力が問われる。米大統領選関係の報道で州別の民主党と共和党の色分けに注目が集まっていたので時事問題というべきテーマである。</p>	難

[総合コメント]

マーク式問題のうち正誤判定は得点しやすいものが目立つものの難易度の高いものも少なくない。用語集レベルの事項は説明文の隅々まで学習しておかないと得点は積み増せない。正攻法では解答困難でも消去法を巧みに使えば対処可能な問題も多いので初見で手ごわそうに見えてもあきらめずに正解に迫りたい。そのためにもくせのある正誤判定問題を数多くこなしておく必要がある。経済分野、とくに金融関係は頻繁に出題されているので重点的に学習しておきたい。最後の100字論述は例年だと事実関係に一定の知識があればそれほど難しくなかった。今年のような直近の時事的問題になると教科書・用語集・受験参考書といった受験生向けのツールにのみ依存した学習では手が回らない。普段からこうした政治・経済分野に関心を持って概説書を手を取ったり、ニュースをしっかりとチェックしたりする習慣をつけたい。時間をかけずに一般教養的知識を獲得するには政経教科書の国際経済分野か就活用の一般常識本を利用するのがよい。安易な予想は避けたいが、来年は感染症に関わるテーマや香港問題・中国の民族問題が要注意といえる。